

現在主義をめぐる現状と課題

鈴木生郎 (Ikuro Suzuki)

日本大学

本発表は、WS 全体の導入として、現在主義をめぐる議論の現状についての概略を与える。時間に関する A 理論は、現在・過去・未来といった区別が時間にとって本質的であるとみなす立場であるが、そのなかでも現在主義はもっとも広く支持されてきた立場であった。というのも、現在主義は、A 理論が直面するいくつかの課題にもっとも自然に答えられるように思われたからである。

しかし他方で、現在主義にはいくつかの深刻な問題が——その一部は、A 理論全体に共通のものだが——指摘されている。たとえば、時空に関する現代の相対論的な理解との齟齬や、現在主義を内実のある形で規定することが本当に可能なのかという問題、過去や未来についての真なる命題の **Truthmaker** を用意できるのかという問題などである。こうした問題のうち、特に本ワークショップに関わりの深い問題について解説し、WS 全体の議論の理解に資することが本発表の狙いである。